

事業名 平成21年度西区公民館4館合同事業 「西区地域学」

趣 旨 平成21～23年度の3ヵ年間事業を実施し、西区の歴史や風土の特徴を知り愛着を深めてもらうとともに、区内地域の交流と振興を促進する。
1年目は、区内の歴史や風土特徴などを研究者による講座と現地見学でわかりやすく学ぶ。

実施主体 新潟市坂井輪地区公民館、同西地区公民館、同黒埼地区公民館、同小針青山公民館の4館で共催

参加対象 新潟市西区にお住まいで6回とも参加できる方

参加者数 延188人

回数 6回 **日 数** 6日 **時 間** 18時間

場 所 坂井輪地区公民館 西地区公民館 黒埼地区公民館 小針青山公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月4日(金) 13:30～15:30	親鸞の七不思議について学ぶ	新潟親鸞学会副会長 一心寺住職 田子 了祐
	内容・方法	【講座】「親鸞の七不思議を考える～川越・波切りの名号・逆さ竹を中心に～」 会場：新潟市小針青山公民館	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月25日(金) 13:30～15:30	郷土黒埼の歴史探訪	郷土史研究家 宮田 栄門 朗読四季の会々員 笠原 悦子
内容・方法	【講座】 郷土黒埼の歴史探訪 「黒埼の今昔」 会場：黒埼地区公民館		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月2日(金) 10:00～15:00	青山・黒埼の親鸞ゆかりの地を巡る	小針・青山・平島・小新ちいき を知る会々員 佐藤 英世
内容・方法	【まち歩き】青山・黒埼方面の親鸞ゆかりの地を巡る 貸切バスを使用		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	10月30日(金) 13:30～15:30	川の立体交差について	越後新川まちおこしの会 幹事 山岸 俊男
内容・方法	【講座】新川と西川水路橋の立体交差と西蒲原の穀倉地帯 会場：西地区公民館		
5	期日・時間	テーマ	講師等
	11月6日(金) 13:30～15:30	旧五十嵐字川下の歴史と自然	NPO坂井輪地域学会員 小野 耐介 ほか
内容・方法	【講座】旧五十嵐字川下の歴史と自然 会場：坂井輪地区公民館		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	11月13日(金) 10:00～15:00	内野・坂井輪の史跡と自然を訪ねる	越後新川まちおこしの会々員 NPO坂井輪地域学会員
内容・方法	【まち歩き】内野・坂井輪方面の史跡と自然を訪ねる 貸切バスを使用		

- 成 果**
- ・ 西区はそれぞれ特色をもつ4つの地域から成り、区政まではほとんど交流もなかった。公民館も地域ごとに1館ずつあったことから合同開催することで、それぞれの地域住民から参加してもらえ、地域のことを理解しあったり、交流を図るよい機会となった。
 - ・ 地域で活動している郷土史研究グループに講師をお願いしたことで、活動成果発表の場が広がるとともに新会員が増えるなどサークル活動の向上につながった。
 - ・ 講座→講座→現地研修を2度くり返す構成や、現地研修を取り入れた内容が参加者アンケートの結果好評であった。

- 課 題**
- ・ 講座終了後に、関わっていただいた郷土史研究グループと公民館の担当者が集まって反省検討会を行ったが、研究グループ同士の交流を深めるために講座が始まる前にも打ち合わせ会などを行うなど検討が必要。
 - ・ 全6回を約2カ月の期間で実施したが、開催間隔を週に1回とする、質疑の時間を増やすなどの希望があったことから、2年目は開催時期、回数などの検討が必要。

問合せ先 新潟市坂井輪地区公民館（担当 笹川智夫）
TEL：025-269-2043

事業名 地域学振興事業

「岩室ふるさと講座」多宝^{やまなみ}の山脈に学ぶ

趣 旨 多宝山に抱かれた岩室は、自然に恵まれた地形や風土・文化との関わりの中で育まれてきた豊かな歴史と先人の足跡をたどりながら、この地域を再発見する。

実施主体 岩室地区公民館

参加対象 新潟市民

参加者数 延132名（各講座：定員25名で募集）

回数 4回 日数 5日 時間 33時間

場所 岩室地域内及び長野県

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月11日(土)	間瀬海岸の植物（市天然記念物）	弥彦山脈植物友の会 横内 忠紀 氏
	内容・方法	日本の南限（バシクルモン）と北限（ツボクサ）の植物が混在している間瀬海岸にスポットを当て、海岸に自生している植物を散策しながら生態を観察した。	
2	8月26日(水)～ 27日(木)	信濃路に間瀬大工の技を求めて	郷土史愛好家 山田 豊昭 氏
	内容・方法	間瀬大工が建てた重要文化財的な寺院・仏閣を昨年の石川県の阿岸本誓寺に続き、長野県の4ヶ寺を訪ね、卓越した匠の技を検証した。	
3	10月17日(土)	多宝山脈の古墳を巡る	市歴史博物館みなとぴあ 館長 甘粕 健 氏
	内容・方法	多宝山脈の麓を流れる矢川流域に存在する古墳を検証。かつて蒲原平野を支配した豪族たちの奥津城（墓）をマイクロバスで4か所の古墳を巡った。〔稲場塚古墳 弥彦村〕〔観音山古墳 岩室〕〔山谷古墳 旧巻町福井〕〔菖蒲塚古墳 旧巻町竹野町〕	
4	11月28日(土)	西蒲地方の食「持齋」	県農村生活アドバイザー 内藤 逸子 氏
	内容・方法	月命日にお寺様に「お齋」を食していただいた時代があったが、いつのころから年に一度、近くの親戚だけでお経をあげ、お膳を囲んだものが「持齋」といわれている。近年忘れされようとしているこの持齋をとりあげ、先祖を敬う行事を再検証した。	

成 果 ・ 当事業について3年間行ったが、地元の知らなかったものや、忘れかけていた文化・歴史等を再発見できたと思われる。
地元だけでなく、他地域からの参加者もおり複数回参加された方も多く、また開催していただきとの要望が寄せられているので、関心のある事業と考える。

課 題 ・ どうしても移動が伴うので、マイクロバス等の関係から定員をさだめなければならず、キャンセル待ちが出るほどである。できることなら全て受け入れてやりたいが・・・

問合せ先 担当は（担当：岩室地区公民館 池田）Tel：0256 - 72 - 8844

事業名 歴史講座「中越大震災～史料保存の現場から～」**趣 旨** 被災した歴史資料の救済、災害の記録を収集する取り組みなどの現状を報告し、歴史資料を保存する大切さを伝える。**実施主体** 長岡市立中央図書館文書資料室**参加対象** 市 民**参加者数** 191人**回 数** 5回 **日 数** 5日 **時 間** 2時間15分**場 所** 中央図書館2階講堂、講座室1**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月20日(火) 13:30～15:45	中越大震災の記録と記憶	中央図書館職員、文書資料室職員
	内容・方法	地震と図書館、中越大震災と歴史資料の保存	
2	10月30日(金) 13:30～15:45	被災資料が人物・地域を語る	文書資料室職員等
	内容・方法	齋藤迪信資料の整理を担当して、刈羽郡中里村桐沢青柳家文書の世界、目崎精松と斯道館	
3	11月6日(金) 13:30～15:45	襖の下張り文書を読む	表具師、文書資料室職員
	内容・方法	下張り文書の解体から学ぶこと～表具師の立場から～、襖に秘められた地域の歴史	
4	11月13日(金) 13:30～15:45	歴史資料所在確認調査の警鐘	新潟県立文書館主任文書研究員、科学博物館学芸員、関原歴史研究会会長、文書資料室職員
	内容・方法	歴史資料所在確認調査の意義、寺泊地域の歴史資料所在確認調査、関原地区の歴史資料の保存と活用、歴史資料の「現地保存」と「現地活用」	
5	11月27日(金) 13:30～15:45	史料保存の未来	十日町市古文書整理ボランティア、長岡市資料整理ボランティア、十日町情報館学芸員
	内容・方法	資料整理の楽しみ、十日町市古文書整理ボランティアの活動と展望	

成 果

- 文書資料室職員が講師をつとめ、自らの言葉で、これまでの5年間の取り組みを振り返ることができた。史料保存に関する講座の開催は文書資料室としては初めてであり、今後の歴史資料の保存の意義を市民に知ってもらいたい機会になった。

課 題

- 報告内容については、事前にもう少し室内で検討する時間を設ければよかった。文書資料室が刊行する長岡市史双書で「中越大震災と史料保存」をテーマにしたシリーズを発行しているの、今後の刊行のなかで今回の講座についてもまとめる機会を持ちたい。今後も市民向けに史料保存に関する講座を開催するほか、資料所蔵者を対象に保存方法の啓発などを継続的に行う必要を感じた。

問合せ先 中央図書館文書資料室(担当:田中洋史) TEL:0258-36-7832

事業名 中越大震災被災地連携企画 震災アーカイブ展 中越大震災5周年特別企画「復興の軌跡」

趣 旨 中越大震災5周年と復興を祈念して、(社)中越防災安全推進機構と共催で、復興に向けた市民団体等の取り組みや、災害関連資料を展示するもの。また、(社)中越防災安全推進機構が主催し、長岡市、川口町、小千谷市、十日町市で行う、中越地震被災地連携企画展のメイン会場として開催する。

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室、(社)中越防災安全推進機構

参加対象 市民

参加者数 1, 347人

回 数 1回 **日 数** 7日 **時 間**

場 所 中央図書館2階美術センター

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月20日(火)～27日(火)	中越大震災5周年特別企画「復興の軌跡」	文書資料室職員等
	内容・方法	震災に関わる資料を展示するとともに、被災地住民のみなさんの復興の記録・過程をパネルで紹介。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月20日(火)・27日(火)	展示解説	(社)中越防災安全推進機構研究員、文書資料室職員
	内容・方法	展示の見どころを紹介・解説。	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月26日(月) 10:00～16:00	被災地まるごとバスツアー	(社)中越防災安全推進機構研究員、文書資料室職員
	内容・方法	長岡市・川口町・小千谷市の被災地と開催中の被災地連携企画展の会場を見学。ツアールート(10:00 中央図書館正面玄関集合→「復興の軌跡」見学→11:45 山古志会館「つなごう山古志の心展」見学→昼食(山古志弁当)→13:10 山古志トンネル→13:15 木籠地区→14:20 川口町木沢地区(震災周辺)→15:00 小千谷市楽集館「あの日、あの時、いま、これから」見学→16:00 中央図書館帰着)	

成 果

- ・ (社)中越安全防災推進機構と共催で行う企画展であり、来場者数も予定通り推移し、昨年度から始めたスタンプラリーを通じた「災害アーカイブス」の連携について、一定の成果をあげることができた。催し物の中では、被災地まるごとバスツアーの人气が高く、女性とご夫婦での参加が多かった。自分の中で5年間の区切りをつけるために参加したという声もきかれ、災害アーカイブの認知度を高めたいというこちらの開催意図を以上の効果があった。

課 題

- ・ 共催で行った展示会であるので、さらにもう少し展示内容に踏み込んだ検討を行えばよかった。来年度の開催については未定であるが、規模・内容・会場等をアレンジしながら継続開催したい。

問合せ先 中央図書館文書資料室(担当:田中洋史) TEL:0258-36-7832

事業名 『郷土長岡を創った人びと』を読む会

趣 旨 長岡市制施行100周年記念事業の一環で今年刊行した『郷土長岡を創った人びと』の頒布促進と合併10市町村の偉人の理解を深める場を市民に提供する。冊子編集時に各地域から公募した委員を講師として迎えることで市民参加としている。（2年計画）

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室

参加対象 市 民

参加者数 129人

回 数 5回 **日 数** 5日 **時 間** 2時間

場 所 中央図書館2階講座室1

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月14日（火） 13：30～15：30	堀直奇、牧野忠成・牧野忠辰・牧野忠精	『郷土長岡を創った人びと』編集委員会委員
	内容・方法	各人物の業績及びエピソードなど	
2	8月25日（火） 13：30～15：30	大竹貫一、池田八郎、安立数衛、中屋庄兵衛	『郷土長岡を創った人びと』編集委員会委員等
	内容・方法	各人物の業績及びエピソードなど	
3	9月8日（火） 13：30～15：30	井上円了、平石金次郎、今井与三郎、中村孝三郎	『郷土長岡を創った人びと』編集委員会委員
	内容・方法	各人物の業績及びエピソードなど	
4	10月6日（火） 13：30～15：30	井伊直安、前波善学、久須美秀三郎、久須美東馬	『郷土長岡を創った人びと』編集委員会委員
	内容・方法	各人物の業績及びエピソードなど	
5	10月27日（火） 13：00～16：00	和島地域の現地見学	『郷土長岡を創った人びと』編集委員会委員
	内容・方法	妙法寺、住雲園、久須美家墓所ほか	

成 果 ・ 合併した市町村の人たちの参加が大勢あった。講座全体として73%の受講者から「良い」という評価を頂くことが出来た。（アンケート実施回収率76%）。人物を通して新しい長岡市についての理解が深められたと思う。

課 題 ・ 講座の時間、内容などを充実させることにより、より受講者の理解が深まるようにする。

問合せ先 中央図書館文書資料室（担当：田中祐子） TEL:0258-36-7832

事業名 特別展 兼続を育てた謙信公のふるさと展

趣 旨 大河ドラマ天地人の放映にあわせ、特別展として開催。米沢の常安寺と栃尾の常安寺に伝わる上杉謙信・兼続らの関係資料などを展示。

実施主体 長岡市栃尾美術館

参加対象 市民

参加者数 5,473人

回数 1回

日 数 60日

時 間

場 所 長岡市栃尾美術館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月1日(水)～ 6月7日(日)	特別展 兼続を育てた謙信公のふるさと展	
	内容・ 方法	山形県米沢市常安寺所蔵の上杉謙信像や兼続の漢詩、栃尾の常安寺所蔵の長岡市指定文化財「謙信愛用の兜の前立」や新潟県指定文化財の「紙本着色上杉謙信並ニ臣像」などを中心に展示。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	4月12日	「栃尾の城と景虎」	嶋田進氏(旧栃尾市文化財審議会会長)
3	内容・ 方法	栃尾城跡についてのみどころや散策の楽しさを伝える	
	期日・時間	テーマ	講師等
4	5月17日	「義の精神発祥の地・栃尾」	石田哲彌氏(旧栃尾市文化財審議会会長)
	内容・ 方法	謙信公の「義」の精神について	
4	期日・時間	テーマ	講師等
	5月24日	「謙信・兼続をさぐる」	広井造科学博物館主査
4	内容・ 方法	展覧会の見どころなどを紹介	

成 果 ・ テレビの影響が大きく、歴史関係の資料を展示したことによって、日ごろ来館しない客層が訪れ、当館のPRにつながった。市内各施設との連携も成功した。

課 題 ・ 今後も歴史資料の展示を他施設と協力して開催し、幅広い層から栃尾美術館を利用してもらおう。

問合せ先 長岡市栃尾美術館 (担当: 佐藤 酒井) TEL: 0258-53-6300

事業名 与板が生んだ日本画家展**趣 旨** 長岡市名誉市民の日本画家大矢紀氏の作品を始め、与板歴史民俗資料館で所蔵する与板出身の日本画家の作品を展示。長岡市ゆかりの作家を紹介。**実施主体** 長岡市栃尾美術館**参加対象** 市民**参加者数** 873人**回 数** 1回 **日 数** 27日 **時 間****場 所** 長岡市栃尾美術館**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月20日(土)～ 7月20日(月)	与板が生んだ日本画家展	
	内容・ 方法	日本画家大矢紀、三輪晁勢など、与板歴史民俗資料館所蔵の大作15点を展示	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月21日(日)	与板が生んだ日本画家展展示作品解説会	大矢 紀 氏
内容・ 方法	展示作品と作家について解説		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	6月21日(日)	子ども絵画教室「大矢紀さんと一緒に絵を描こう」	大矢 紀 氏
内容・ 方法	小学校3年生から高校生を対象に大矢氏の指導により、くだものを写生		

成 果 ・ 与板地域でしか見ることのできなかつた大作を当館で展示、より多くの方に紹介できた。**課 題** ・ 与板歴史民俗資料館から一時的に預かっている作品であるので、その間、有効に活かしていく。**問合せ先** 長岡市栃尾美術館 (担当：近藤 酒井) TEL：0258 - 53-6300

事業名 企画展「発掘された長岡城」ほか 科学博物館の企画展

趣 旨 最新の情報提供、長岡市内の自然や文化への理解を深める機会提供

実施主体 長岡市立科学博物館

参加対象 市民

参加者数 8, 492人 (11月末現在)

回 数 各1回 **日 数** 合計233日間 (11月末現在) **時 間**

場 所 長岡市立科学博物館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月25日(土)～6月14日(日)	企画展「長岡の街とトラフズク」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	2008年冬長岡市内の市街地で繁殖が確認された梟(ふくろう)の一種、トラフズクの生態を通して市内の自然環境について知る。期間中展示解説(10回)実施。	
2	7月4日(土)～7月29日(水)	企画展「発掘された長岡城」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	市街地再開発事業などに伴う長岡城跡発掘調査の成果を公開し、あわせて県内の近世城郭の出土品を展示。	
3	7月4日(土)～9月13日(日)	企画展 「夏休みクワガタ&カブトムシワールド！」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	カブトムシの標本900種その他、クワガタムシも展示し、生態について解説。	
4	9月25日(金)～11月1日(日)	企画展「秋、実りとキノコ」	科学博物館学芸員
	内容・方法	実りの時期の植物を種子散布方法別に展示。同時にパネル・写真でキノコについて展示解説し中毒防止に役立てる。期間中「キノコを調べる会」「キノコの展示会」開催。	
5	12月5日(土)～1月31日(日)	企画展「世界のチョウ」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	輝く羽のモルフォチョウ、巨大なトリバネアゲハ、毒チョウやそれに擬態するチョウなど、驚きのチョウの世界を紹介。期間中「昆虫おもしろ教室」を開催。	
6	12月5日(土)～3月22日(祝)	企画展「長岡の絵馬」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	珍しい三島地域の酒造絵馬、越路地域の算額などの写真を含め、長岡の色々な絵馬を紹介。	
7	12月5日(土)～3月22日(祝)	企画展「海を渡った植物標本」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	約80年前につくられ、南洋ポナペ諸島から長岡に運ばれた貴重な植物標本を公開。	

成 果 ・ 多数の来館者があり、高い関心と理解を得ることができた。

課 題 ・ 展示内容をより充実させるためには今後も調査を継続し、新たな発見を伝えてゆく必要がある。
 ・ さまざまな分野の展示を通して、地域の自然や歴史への市民の興味・関心を高めていく。

問合せ先 長岡市立科学博物館 TEL0258-32-0546
 (担当 1:学芸係 岩本二郎 3・5:学芸係 山屋茂人
 2:文化財係 鳥居美栄 4・7:学芸係 櫻井幸枝 6:学芸係 山崎進)

事業名 特別展「江戸時代の教科書展」ほか 科学博物館の特別展・巡回展

趣 旨 最新の情報提供、長岡市内の自然や文化への理解を深める機会提供

実施主体 長岡市立科学博物館

参加対象 市民

参加者数 16,585人

回 数 各1回 **日 数** 合計188日間 **時 間**

場 所 長岡市立科学博物館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月18日(木)～28日(日)	特別展「江戸時代の教科書展」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	江戸時代に使用された教科書などを展示し、江戸時代長岡の教育環境を探ります。	
2	7月25日(土)～9月27日(日)	郷土史料館特別展 「近世・近代の長岡人 ころの交流展」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	山本五十六と司法大臣小原直の交流を伝える書簡など、長岡出身者同士の交流の魅力を探る。期間中、展示の見どころを解説する学習会を開催(3回)	
3	7月18日(土)～9月23日(祝)	海牛化石巡回展 「ミョウシーが寺泊にやってきた」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	長岡市妙見町の災害復旧工事現場で見つかった海牛 ^{かいぎゅう} (愛称:ミョウシー)の化石等を展示公開することにより、絶滅した大型海生哺乳類を学んでもらう。実物(胸椎、肋骨)、レプリカ(肩甲骨)、生体復元図、産出状況の写真等を展示して解説。会場は寺泊水族博物館資料展示室。	
4	8月1日(土)～9月23日(祝)	特別展「古代ロードと古志の里 －青年オオムシが見た古代の越後－」	科学博物館学芸員等
	内容・方法	八幡林遺跡出土品など新潟県の奈良・平安時代を代表する出土品を展示。会場は長岡市立科学博物館。期間中に開催したシンポジウムでは八幡林遺跡から出土した木簡の解読から、古代の新潟県の様子を紹介。会場は長岡市立中央図書館、8月9日(日)開催。	

成 果 ・ 多数の来館者を記録し、市民を始め県内外の方に関心を寄せていただいた。

課 題 ・ 新規の受け入れ資料や、魅力のあるテーマ設定により、さらに市民の教育・文化資源への興味関心を高めていくこと。

問合せ先 長岡市立科学博物館 TEL0258-32-0546
(担当 1・2:学芸係 広井造 3:学芸係 加藤正明 4:文化財係 丸山一昭)

事業名 糸魚川学び隊（ふるさと楽習塾）

趣 旨 糸魚川の歴史・文化・自然、営み（生活）を楽しみながら学び、ふるさと糸魚川を愛する心を育むことを目的とし、親子体験学習を能生・糸魚川・青海の各地域で実施する。

実施主体 糸魚川市教育委員会

参加対象 糸魚川市内中学生以下の子どもとその保護者

参加者数 116人

回 数 3回 **日 数** 3日 **時 間** 6時間/回

場 所 糸魚川市3地域

内 容

回	期日・時間	テーマ	参加人数
1	5月31日(日) 9:00~14:30	糸魚川 春の恵みを学び隊！	20人
	内容・方法	会場：上早川地区公民館（糸魚川市大字土塩） <input type="checkbox"/> 公民館周辺散策 <input type="checkbox"/> よもぎ団子と天ぷらづくり <input type="checkbox"/> 種のキットづくり	
2	8月22日(土) 9:00~15:00	糸魚川 夏の恵みを学び隊！	62人
	内容・方法	会場：能生漁港（糸魚川市大字能生） <input type="checkbox"/> 魚つり <input type="checkbox"/> 魚料理 <input type="checkbox"/> ネイチャーゲーム	
3	11月1日(日) 9:30~15:00	糸魚川 秋の恵みを学び隊！	34人
	内容・方法	会場：上路地区公民館（糸魚川市大字上路） <input type="checkbox"/> 大根収穫・大根洗い <input type="checkbox"/> 大根料理 <input type="checkbox"/> 炭焼き見学	

成 果

- ・ 参加した親子は普段触れることのない糸魚川の自然に直に接し、ふるさとの良さを再発見していた。釣った魚をその場でさばいて調理するなど地元の食材のすばらしさも理解してもらうことができ、食育につながった。
- ・ 不足しがちな親子のコミュニケーションのきっかけ作りになった。子どもと大人それぞれに役割があり、親子力を合わせて達成できたことに喜ぶ場面が随所に見られた。

課 題

- ・ 期日の設定が学校行事と重なってしまい、参加者が少ない回があった。また、広報等、周知の方法を工夫して、多くの親子に参加してもらえようようにしたい。

問合せ先 糸魚川市教育委員会生涯学習課（担当 古平 真由美） TEL：025-552-1511

事業名 旧武石家住宅活用事業 昔ばなしと昔の遊び

趣 旨 300年前に建てられたかやぶき民家・弥彦村指定文化財である「旧武石家住宅」を活用して、当時の農民の暮らしを体験し、昔の人の知恵を伝えていく場を提供する。

実施主体 弥彦村公民館

参加対象 一般

参加者数 30名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 2時間

場 所 旧武石家住宅

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月29日(土) 10:00~12:00	旧武石家で当時の人々の暮らしを体験し、その雰囲気 に親しむ。	やひこ絵本の会 代表 高橋暁子 氏 ボランティア
	内容・方法	旧武石家で土間の囲炉裏の火を囲み、語りべの話す 地元に伝わる昔話を聞き、紙芝居を見たり、手遊 びをしながら、串刺しにして焼いた川魚を食べる。	

成 果

- ・ 初めて囲炉裏を見る幼児から囲炉裏を懐かしむ年配の方まで、いろいろな世代の参加者から旧武石家で過ごす一日を楽しんでもらえた。
- ・ 方言で話す地元の昔話は、なかなか聞く機会のないものであり、子どもも大人も熱心に聞き入っていた。

課 題

- ・ 継続して行っている事業であるが、遠方より来てくれる参加者の割合が多くなっている。身近な文化財をより知ってもらうためにも、より多くの村内の参加者に来てもらえるように広報・周知の方法を検討する必要がある。

問合せ先 弥彦村教育委員会 教育課（担当：春日） TEL:0256-94-4311